

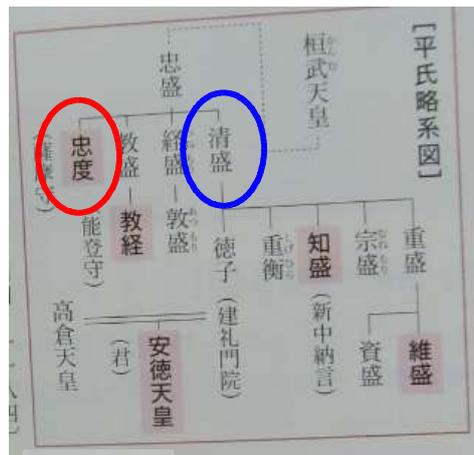
国語「忠度(ただのり)の都落ちー平家物語からー」

1 授業のポイント1

課題の工夫 ー 3つの物語を比べる
(平家物語・延喜本「平家物語」・源平盛衰記) ー

忠度の都落ちーあらすじー

平清盛の弟で歌人「忠度」の物語です。平氏は今まさに滅びようとしていたとき、京都から逃れていた忠度が、貴族の「俊成卿」が泊まって宿舎にやってきて、歌集の中に自分が詠んだ歌を入れて欲しいと願い出る場面の話です。



源平盛衰記の中にある物語

【B】『源平盛衰記』卷第三十二
中にもやさしき事と聞こえしは、薩摩守忠度と淀の河尻まで下りたりけるが、郎等六騎相具し

源平盛衰記の中にある物語

延喜本「平家物語」の中の物語

【A】延喜本「平家物語」
その中にやさしくあはれなりし事は、薩摩守忠度はそのころ、皇太后宮大夫俊成卿、勅を奉りて千載集

延喜本「平家物語」の中の物語

平家物語の物語（教科書）

「忠度の都落ち」物語は、

平家物語の物語（教科書）

「平家物語」「延喜本・平家物語」「源平盛衰記」の三つの物語の中に残されています。

あらすじは、同じなのですが、表現のされ方が違います。

本時は、教科書の物語を学習した後に、「延喜本・平家物語」「源平盛衰記」の中の「忠度の都落ち」の場面を提示し読み比べの課題を設定しました。

3 授業のポイント3

「延喜本・平家物語」と「平家物語」を比較する

○「延喜本・平家物語」と「平家物語」の違いについて説明する教師

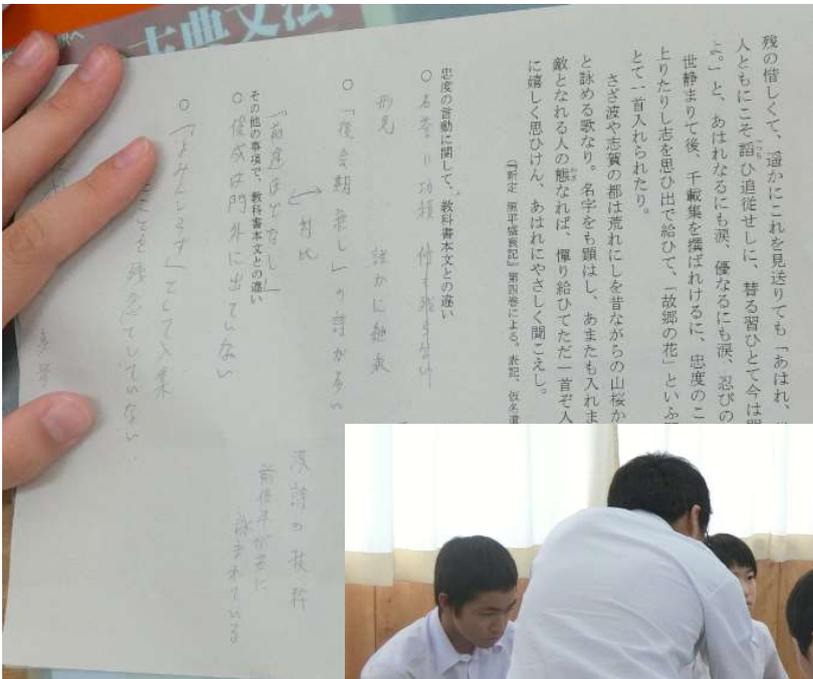


○生徒が違いを板書している様子



4 授業のポイント4

「源平盛衰記」と「平家物語」を比較する。



平家物語は、日本語の基になった重要な物語です。

その中に出てくる「忠度の都落ち」の物語は、3つの物語があることを学びました。

全体的な流れは一緒でも、門を挟んで主人

公「忠度」と和歌集の編纂者で場面の重要人物である「俊成卿」の出会い方などに違いがありました。

作者の意図について読みを深めていきました。

